

科目名		産業衛生工学論文指導	
科目責任者 石田尾 徹		作業環境計測制御学 講師	
担当者			
開講時期： 2年次		単位数： 6 単位	
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 作業環境に存在する有害因子の性質と挙動、および生体への影響について実験的、文献的に学び、討論することを通じて、作業環境中で発生するこれらの有害因子を測定・分析または制御するための手法を開発し、論文にまとめることができる。 行動目標 (SBOs) 1) 作業環境に存在する化学的因子の対策について論述することができる。 2) 作業環境における物理的因子の対策について論述することができる。 3) 作業環境に存在する生物因子の対策について論述することができる。 4) 化学物質のばく露限界値を決定することができる。 5) 化学物質管理の具体的手法について論述することができる。 6) 化学物質管理の国際動向について論述することができる。 7) 個人ばく露濃度測定の方法と問題点について論述することができる。 8) 工学的対策の種類と優先順位について論述することができる。 9) 局所排気装置の原理について論述することができる。 10) 局所排気装置の構造と限界について論述することができる。 11) 局所排気装置の点検方法について論述することができる。 12) 局所排気装置の改善手法について論述することができる。 13) プッシュプル換気装置の効果的な設計について論述することができる。 14) 全体換気装置の効果的な設計について論述することができる。 15) 労働衛生保護具の使用上の問題点について論述することができる。			
● 評価方法		論文作成の課程における討議への参加度 30%・発表内容(質疑応答含む) 20%・論文内容 50%で総合評価する。	
● 参考文献		指導の中で必要に応じ紹介する。	

● 授業内容

内容	担当教員
選択したテーマに関して、研究手法や研究倫理などの指導を行うとともに、得られた結果の解釈の仕方、まとめ方についての実践的な論文指導を行う。	石田尾
化学分析を中心に、工学的対策の実施に必要となる分析機器の原理、基礎実験及び分析方法に関する論文指導を行う。	石田尾
生物因子を中心に、環境気中のバイオエアロゾルの捕集、分析、同定および対策に関する論文指導を行う。	石田尾
ばく露により体内に摂取された化学物質の体内での挙動、反応に基づいたばく露限界値の決定方法に関する論文指導を行う。	石田尾